

【地域密着型金融に係る具体的事項 上期進捗状況（22年4月～22年9月）】

西兵庫信用金庫

<p>項目</p>	<p>(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化</p>
<p>取組方針 及び目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先企業のライフサイクル（創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生、事業承継）にあわせた審査機能を強化し、各種手法の活用等を通じて取引先企業の支援に取り組む。また、経営全体のニーズに対応する関係を構築するために人材育成や情報ネットワークの構築・活用を行っていく。特に、事業再生においては、企業価値が保たれているうちの早期再生と、再生後の持続可能性ある事業再構築を目指していく。</li> </ul>
<p>推進態勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先企業のライフサイクルにあわせた支援については、資産査定管理部（経営支援課）が中心となり推進する。</li> <li>・審査機能の強化と各種手法の研究・活用について、審査部は、資産査定管理部（経営支援課）と協調して取り組む。</li> <li>・異業種交流会、経営者等の意識改革に関するセミナー等の開催については業務部が担当する。</li> <li>・職員の人材確保・育成については人事部が担当する。</li> </ul>
<p>小項目</p>	<p>①事業再生支援</p>
<p>具体的 取組策 (目標設定を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営支援先の適正な認定と経営改善計画の策定支援</li> <li>・経営改善計画の進捗管理の徹底</li> <li>・中小企業診断士による経営改善についての実効的な取組み</li> <li>・経営支援先訪問を通じた実態把握と営業店との連携によるランクアップへの取組み</li> <li>・事業再生手法の研究(中小企業基盤整備機構のファンド、DES、DDS、保証協会付 DIP ファイナンス、再挑戦支援保証等)</li> <li>・取引先企業の事業価値を見極める能力を持った人材の継続的育成</li> </ul>
<p>22年4月～22年 9月の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営支援先については、改善計画の策定支援・指導を行なうと共に計画的に訪問を行ない、営業店と連携して実態の把握と計画の進捗状況の管理を行い改善に努めている。また、中小企業診断士4名がそれぞれ事業所を担当し実効的な指導、支援を実施している。(上半期ランクアップ2先)</li> <li>・「多様化する事業再生スキームと金融支援手法」セミナー（事業再生ADR、准資本金型DDSを中心）に参加。(6/25)</li> <li>・派遣研修を主として人材の継続的育成を図っている。 「目利き力実践講座」「目利き力養成講座」「企業再生支援講座」へ6名派遣 通信講座「中小企業融資目利き力養成講座」を13名が受講</li> </ul>

22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営支援先に対して、計画的な訪問により改善計画の策定支援や進捗の管理を行ないランクアップに努めている。下期も営業店と連携を図りながら支援に取り組む。</li> <li>・中小企業診断士による支援は継続して実施する。</li> <li>・事業再生手法については、研修会へ参加し知識習得及び事例研究を行った。引続き企業再生の事例研究を重ね利用を図る。</li> <li>・人材の育成は計画通り進捗している。受講生からのOJTを計画的に継続実施していくことが課題である。</li> </ul>
---------------------------	---

小項目	②創業・新事業支援
<b>具体的取組策</b> <small>(目標設定を含む)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県立大学産学連携センターとの連携強化</li> <li>・地方公共団体、商工会議所、商工会等との連携強化</li> <li>・創業、新規事業に係る外部機関との連携強化</li> <li>・保証協会の創業者向け保証制度、地公体の創業者向け制度融資の活用</li> </ul>
22年4月～22年9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県立大学産学連携センターと連携を図りながら企業からの相談、課題の解決に向けた取組みを実施している。</li> <li>・宍粟市、宍粟市商工会との連携事業として、地元の事業者の発展を支援する目的から「経営革新塾」を開講し、経営者の育成に努めている。また、事業承継、創業、農商工連携の講演会を連携事業の一環として実施した。</li> <li>・創業者向け融資（保証協会等の制度融資以外）10件 100,800千円</li> </ul>
22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県立大学産学連携センターへの相談を通じて、企業の課題解決への支援をさらに深める。</li> <li>・宍粟市、宍粟市商工会との連携をさらに図るため新たな支援策を検討する。</li> <li>・創業者向け融資に積極的に対応できた。保証協会・地公体の創業者向け制度融資の活用を図る。</li> </ul>

小項目	③経営改善支援
<b>具体的取組策</b> <small>(目標設定を含む)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善計画の策定支援と進捗管理の徹底</li> <li>・条件変更対応先への経営改善計画の策定支援と進捗管理の徹底</li> <li>・経営支援先訪問を通じた実態把握と営業店との連携によるランクアップへの取組み</li> <li>・中小企業診断士による経営改善支援についての実効的取組みとビジネスマッチング情報等の提供</li> <li>・経営改善計画による条件変更への取組み</li> <li>・にししんクラブ講演会の開催</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異業種交流会の開催と会員への「しんきん経営情報」冊子の定期的送付</li> <li>・「川上・川下ビジネスネットワーク」への参加</li> <li>・企業のライフサイクルに付随するニーズに対応できる人材の継続的育成</li> </ul>
<p>22年4月～22年9月の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付条件の変更の申込みがあった先で、経営再建計画策定支援が必要と思われる先については策定の支援を行い、策定した計画について進捗状況を定期的にモニタリングするなど、柔軟に貸付条件変更の申出に対応した。</li> <li>・経営支援先へは定期的に訪問を行い営業店と連携を図りながらランクアップに努めている。</li> <li>・中小企業診断士4名がそれぞれ事業所を担当し、実効的な指導・支援を行っている。</li> <li>・各種連携機関からの販路開拓情報を提供し、ビジネスマッチングを支援している。(信金中央金庫からの情報提供を受け小田急グループの販売等イベントに当金庫取引先2社が参加し実績を上げた。)</li> <li>・にしんクラブ講演会は11月20日開催予定。</li> <li>・「しんきん経営情報」を毎月会員宛送付。</li> <li>・「川上・川下ビジネスネットワーク」会議参加(7/23)</li> <li>・企業のライフサイクルに付随するニーズに対応できる人材育成のため「法人融資渉外講座」を17名が受講、「融資渉外講座」へ2名派遣し継続的育成を図っている。</li> </ul>
<p>22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付条件の変更に伴う本部認定支援先は46先であり、全先改善計画を策定し四半期毎に進捗状況をモニタリングしている。</li> <li>・22年度上期の経営支援先のランクアップは2先。下期も継続してランクアップに向けた取組みを行なう。</li> <li>・販路開拓は神戸商工会議所、姫路商工会議所主催の商談会の情報を取引先に提供し、出展参加を促した。下期も継続して取組んでいく。</li> <li>・今後、取引先企業の中国市場への販路開拓支援も行いたい。</li> <li>・条件変更の申出に対して、柔軟に対応した。引続き改善計画の進捗チェックによるより細やかな経営指導を実施する。</li> <li>・異業種交流会を1月に開催予定。「川上・川下ビジネスネットワーク」については、21年度に引続きシーズ企業8社を登録し、神戸市産業振興財団と連携してビジネスマッチング等を支援する。</li> <li>・人材育成については、通信講座を主とする自己啓発、外部への派遣研修等にて継続的に育成している。習得度合いの把握、実践度合いの把握が課題である。</li> </ul>

小項目	④事業承継支援
具体的取組策 (目標設定を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継に係る外部機関の活用等</li> <li>・M&amp;A等に関する情報の提供</li> <li>・「にししん J-CLUB」講演会・親睦会・セミナー等の開催</li> </ul>
22年4月～22年9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宍粟市、宍粟市商工会との連携活動の一環として、事業承継の講演会を6月に実施した。</li> <li>・信金キャピタル社発行の「信金キャピタルニュース」を毎月営業店に配布し、M&amp;Aの情報提供と収集を行っている。</li> <li>・第6回にししん J-CLUB セミナー開催。(5/19)</li> </ul>
22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業承継については、取引先からの案件情報の収集に努めるとともに、外部機関も活用して課題解決を図る。</li> <li>・第7回にししん J-CLUB セミナーを11月2日開催予定。にししん J-CLUB は若手(後継者)の組織であり、セミナー等を通じて後継者の育成を図ることが課題。</li> </ul>

項目	<p>(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p> <p>①事業価値を見極める融資(不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資)の徹底</p>
取組方針及び目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先企業の不動産担保、個人保証に過度に依存することなく、定性情報を含めた地域での情報を生かし、事業価値を見極めて金融サービスを行う。</li> </ul>
推進態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発については業務部が中心となり担当する。</li> <li>・信用リスクの軽減については審査部が中心となり担当する。</li> </ul>
具体的取組策 (目標設定を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業融資への積極的取組み 平成22年4月～6月：事業者向商品開発</li> <li>・動産・債権譲渡担保融資、ABL等の活用</li> <li>・様々なコベナンツ(債務者企業に契約で定められた事項の報告義務を課すもの、停止条件付連帯保証&lt;事業や経営状況の報告義務を課す等のコベナンツを付し、当該コベナンツ違反を停止条件として代表者に連帯保証を求めるもの&gt;)等の活用</li> </ul>
22年4月～22年9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうご中小企業技術評価制度を活用した融資制度「にししん技術評価サポートローン」を創設。(4月)</li> <li>・新規事業所開拓商品として「にししんフロンティア」の取扱いを開始。(9月) 上期実績は7件 172百万円</li> <li>・セーフティネット、ビジネスクイックローンの取扱いによる中小企業等への積極的な資金供給 セーフティネット 121件 2,075百万円 ビジネスクイックローン 176件 1,777百万円</li> <li>・動産・債権譲渡担保、ABLの活用についてセミナー等に参加。</li> </ul>

22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティネット資金を中心に積極的に推進し、中小企業の支援を行った。</li> <li>・「にししんフロンティア」による新規事業所への積極的な推進が課題。</li> <li>・動産・債権譲渡担保、ABLの活用については、セミナー等に参加して、事例研究の段階である。ABL取組時にコベナントの活用を予定している。</li> </ul>
---------------------------	--

小項目	②目利き機能の向上
取組方針及び目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互扶助の理念の下、商工会議所・商工会をはじめ、地域での各方面との連携の中で情報の非対称性を埋めていながら、取引先企業の事業価値を見極める「目利き機能」を向上させる。</li> </ul>
推進態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成については人事部が中心となり担当する。</li> <li>・外部機関との連携、諸制度の検討については資産査定管理部（経営支援課）が中心となり担当する。</li> </ul>
具体的取組策 (目標設定を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目利き機能」等コンサルティング能力向上のため、中小企業診断士の養成と派遣研修の継続実施</li> <li>・ひょうご産業活性化センターの各制度の利用</li> <li>・県立大学産学連携センターとの連携推進</li> </ul>
22年4月～22年9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目利き力養成講座」等の派遣研修、「中小企業融資目利き力養成講座」の通信講座受講を継続的に実施、また、中小企業診断士養成のため、診断士1次試験受験、大学校への派遣にて診断士養成。</li> <li>・ひょうご産業活性化センターの中小企業技術評価制度の活用により「にししん技術評価サポートローン」を創設し利用を図った。</li> <li>・兵庫県立大学産学連携センターと連携を図りながら、企業からの相談・課題の解決に向けた取組みを行っている。</li> </ul>
22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣研修、通信講座の受講にてコンサルティング能力向上に努めている。中小企業診断士の養成、実践的活用が課題である。</li> <li>・22年度上期の中小企業技術評価制度の取得は4先、うち1先でサポートローンの利用（10百万円）あり。下期も継続して取組む。</li> <li>・兵庫県立大学産学連携センターへの相談を通じて企業の課題解決への支援をさらに深める。</li> </ul>

小項目	③中小企業に適した資金供給手法の徹底
取組方針及び目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業価値を見極める融資以外にも、取引先中小企業へのリスク対応力、資金供給力を高める手法を研究する。</li> </ul>
推進態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発・管理については業務部が中心となり担当する。</li> <li>・信用リスクの軽減については審査部が中心となり担当する。</li> </ul>

<p>具体的 取組策 (目標設定を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小企業融資への積極的取組み 平成21年4月～6月：事業者向商品開発</li> <li>・ スコアリングモデルを活用した融資の取組み</li> <li>・ シンジケートローンの活用や新しい融資形態について検討</li> </ul>															
<p>22年4月～22年 9月の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひょうご中小企業技術評価制度を活用した融資制度「にししん技術評価サポートローン」を創設。(4月)</li> <li>・ 新規事業所開拓商品として「にししんフロンティア」の取扱いを開始。(9月) 上期実績は7件 172百万円</li> <li>・ セーフティネットやスコアリングモデルを活用した融資商品の取扱いによる中小企業等への積極的な資金供給。 <table border="1" data-bbox="523 651 1201 880"> <tr> <td>セーフティネット</td> <td>121件</td> <td>2,075百万円</td> </tr> <tr> <td>スーパーじんそく</td> <td>3件</td> <td>120百万円</td> </tr> <tr> <td>じんそく</td> <td>1件</td> <td>4百万円</td> </tr> <tr> <td>活性化資金</td> <td>3件</td> <td>73百万円</td> </tr> <tr> <td>ビジネスクイックローン</td> <td>176件</td> <td>1,777百万円</td> </tr> </table> </li> <li>・ シンジケートローン 4件 577百万円</li> </ul>	セーフティネット	121件	2,075百万円	スーパーじんそく	3件	120百万円	じんそく	1件	4百万円	活性化資金	3件	73百万円	ビジネスクイックローン	176件	1,777百万円
セーフティネット	121件	2,075百万円														
スーパーじんそく	3件	120百万円														
じんそく	1件	4百万円														
活性化資金	3件	73百万円														
ビジネスクイックローン	176件	1,777百万円														
<p>22年9月までの進 捗状況に対する評 価及び今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セーフティネット資金を中心に積極的に推進し、中小企業の支援を行った。</li> <li>・ 「にししんフロンティア」による新規事業所への積極的な推進が課題である。</li> <li>・ 緊急保証制度の利用が多く、その他の保証協会付融資については低調であった。</li> <li>・ 中小企業者の資金調達の多様化を図るため、今後も新しい融資形態を検討する。</li> </ul>															

<p>項目</p>	<p>(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 ①地域の面的再生</p>
<p>取組方針 及び目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域経済全体を展望したビジョン策定への積極的支援や、公民が連携した取組みへのコーディネーターとしての参画等を通じて、地域で積極的な役割を果たしていく。</li> </ul>
<p>推進態勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務部が中心となり担当する。</li> </ul>
<p>具体的 取組策 (目標設定を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宍粟市起業家支援策の活用</li> <li>・ 神戸市産業振興財団主催「川上・川下ビジネスネットワーク構築事業フォーラム」への参加</li> <li>・ 地公体向け融資の積極的推進</li> <li>・ NPO法人への支援</li> <li>・ ボランティア活動</li> </ul>

22年4月～22年9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「川上・川下ビジネスネットワーク」 会議参加 (7/23)</li> <li>・ 月1回本店周辺の清掃活動実施</li> <li>・ たつの市花火大会後の清掃活動 (8/8)</li> <li>・ 特定非営利活動法人「花菖蒲園」へ6月の土日に職員による来園者の送迎活動実施</li> </ul>
22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸市産業振興財団との連携によるビジネスマッチング等の推進、NPO法人への支援、ボランティア活動については、今後も積極的に支援・活動する。</li> </ul>

小項目	②地域活性化につながる多様なサービスの提供																		
取組方針及び目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域経済に貢献しつつ、自らの収益向上にも結びつく持続可能性ある形で多様な金融サービスを提供し、地域全体の活性化につなげていく。</li> </ul>																		
推進態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金融知識の普及については人事部が中心となり担当する。</li> <li>・ それ以外については業務部が中心となり担当する。</li> </ul>																		
具体的取組策 (目標設定を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宍粟市内の小学校、中学校主体に「金融出前講座」の実施</li> <li>・ 顧客ニーズを踏まえた融資商品目的別ローン等への取組み</li> <li>・ 個人、中小企業者の資金ニーズに対する細やかな対応</li> <li>・ コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援、融資等への取組み</li> <li>・ 事業者向け商品開発 (平成22年4月～6月)</li> <li>・ 新規事業所開拓</li> <li>・ 「フリーローン」の積極的推進</li> <li>・ 預かり資産 (個人年金・投資信託・個人向け国債・火災保険等) の積極的推進</li> </ul>																		
22年4月～22年9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「金融出前講座」実施。(小学校2校)</li> <li>・ オリコ、クレディセゾンの各フリーローンを見直し、サービスの充実等を図った。</li> <li>・ 9月に新規事業所向け商品「にししんフロンティア」の取扱を開始。</li> <li>・ セーフティネット、ビジネスクイックローンの積極的な推進。6月より「標準傷害保険」の取扱開始。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>フリーローンを含む個人ローン</td> <td>539件</td> <td>588百万円</td> </tr> <tr> <td>にししんフロンティア</td> <td>7件</td> <td>172百万円</td> </tr> <tr> <td>セーフティネット</td> <td>121件</td> <td>2,075百万円</td> </tr> <tr> <td>ビジネスクイックローン</td> <td>176件</td> <td>1,777百万円</td> </tr> <tr> <td>個人年金</td> <td></td> <td>185百万円</td> </tr> <tr> <td>標準傷害保険</td> <td></td> <td>5,822千円</td> </tr> </table>	フリーローンを含む個人ローン	539件	588百万円	にししんフロンティア	7件	172百万円	セーフティネット	121件	2,075百万円	ビジネスクイックローン	176件	1,777百万円	個人年金		185百万円	標準傷害保険		5,822千円
フリーローンを含む個人ローン	539件	588百万円																	
にししんフロンティア	7件	172百万円																	
セーフティネット	121件	2,075百万円																	
ビジネスクイックローン	176件	1,777百万円																	
個人年金		185百万円																	
標準傷害保険		5,822千円																	

22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宍粟市教育委員会より依頼のあった小中学校に対して「金融出前講座」を実施。実施校の拡大と継続が課題。</li> <li>・ 個人・中小企業融資、預かり資産の取組みについては、さらに積極的な推進が課題である。</li> </ul>
---------------------------	--

項目	(4) 地域密着型金融の取組状況の公表 取組実績の公表
取組方針及び目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域密着型金融の推進に当たっては、地域の利用者の目（パブリック・プレッシャー）を常に意識し、地域密着型金融が深化・定着するように取組み、その推進状況を公表する。</li> </ul>
推進態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合企画部が中心となり担当する。</li> </ul>
具体的取組策 (目標設定を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年1回以上取組状況を公表</li> <li>・ 取組状況の把握と取組推進</li> </ul>
22年4月～22年9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域密着型金融に係る具体的事項」の進捗状況を、毎年上期と通期に分けて公表している。</li> </ul>
22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公表内容をわかりやすくしていくとともに適時適切に開示する。</li> </ul>

項目	(5) 信用金庫に特に求められる事項 ①総代会の機能向上に向けた取組み
取組方針及び目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業界団体の検討事項を踏まえながら、総代会の機能強化に取り組む。</li> </ul>
推進態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開示については総合企画部が中心となり担当する。</li> <li>・ それ以外については総務部が中心となり担当する。</li> </ul>
具体的取組策 (目標設定を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総代会制度の仕組等についてディスクロージャー誌等で適切に開示</li> <li>・ 会員の意見を反映した取組みを行うため、会員アンケートを実施</li> <li>・ 総代と金庫、総代相互間の関係強化を図るため、講演会、懇親会等を開催</li> </ul>
22年4月～22年9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総代会制度の仕組み等についてディスクロージャー誌等で開示を行った。</li> <li>・ 会員アンケート実施予定。(10月)</li> <li>・ 総代を対象とした講演会と懇親会実施予定。(平成23年2月)</li> </ul>
22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総代会の仕組等やアンケート結果については、今後も積極的に公表する。</li> </ul>

小項目	②半期開示の充実に向けた取組み
取組方針 及び目標	・ 半期開示にかかる内容の充実にについて、業界団体からの開示方針を参考に、積極的に取組む。
推進態勢	・ 総合企画部が中心となり担当する。
具体的 取組策 (目標設定を含む)	・ 半期開示の充実（開示項目、開示内容、開示方法等の充実）
22年4月～22年 9月の進捗状況	・ 下期（11月予定）に開示予定。
22年9月までの進 捗状況に対する評 価及び今後の課題	・ 開示する項目については、業界動向も注視しながら充実を図る。

小項目	③信用リスク管理体制の充実
取組方針 及び目標	・ 適切な信用リスク管理・処理（特に不良債権管理・処理）により、当庫の健全性を確保し、地域密着型金融の取組みを進める。また、小規模事業者については、その特色を踏まえた与信管理を実施する。
推進態勢	・ 大口与信先とポートフォリオ管理等は審査部が担当する。 ・ 問題債権管理等は債権管理部が担当する。 ・ ランクアップ等への取組みについては資産査定管理部が担当する。
具体的 取組策 (目標設定を含む)	・ 大口与信先に対する、継続的なモニタリングの実施 ・ 業種等のポートフォリオについての適切な管理の実施 ・ 小規模事業者についての実態把握 ・ 債務者についての実態把握と実態に則した適切な債権管理の実施 ・ 経営実態を総合的に勘案した信用格付の実施 ・ 経営支援先の実態把握とランクアップへの取組 ・ 経営支援先の経営改善計画の策定支援と進捗管理
22年4月～22年 9月の進捗状況	・ 大口上位20先について継続的なモニタリングを実施した。 ・ 小規模事業者の融資審査は個人と一体で行っている。小規模事業者の格付は未実施。 ・ 問題債権は期初に営業店とのヒアリング等に基づき取組方針を決定し管理している。また、その進捗状況を半期毎に検証している。 ・ 信用格付は基礎データに加えて資産、CFや将来性の評価、経営者の資力等を加味し総合的な見地から実施している。 ・ 営業店と連携しながら改善計画の策定支援、進捗管理を行い実態把握とランクアップに努めている。

22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大口与信先、ポートフォリオ管理は適切に実施している。小規模事業者の格付が未実施であるが、共同事務センターの融資統合システム導入後に検討する。</li> <li>・ 11月に問題債権の取組方針について、進捗状況を検証し、適切な債権管理に努める。</li> <li>・ 信用格付はさらに精度を高めた実施を目指す。</li> <li>・ 営業店と連携を図りながらランクアップに努める。(上期ランクアップ2先)</li> </ul>
---------------------------	---

小項目	④市場リスク管理体制の充実
取組方針及び目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有価証券による運用の重要性が高まっている中、さらなる市場リスクの管理強化に努める。</li> </ul>
推進態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経理部が中心となり担当するが、内部監査については業務監査部が担当する。</li> </ul>
<b>具体的取組策</b> <small>(目標設定を含む)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VaRによるリスク管理及びバックテストとストレステストによるVaRの有効性の検証と分析の継続</li> <li>・ 有価証券管理システム(i-port)による分析方法の研究及び管理方法の高度化の研究</li> <li>・ 中央・外部機関(信金中金、証券会社等)の活用</li> <li>・ VaRによるリスク管理の結果検証とバックテストとストレステストによるVaRの有効性の検証の継続</li> </ul>
22年4月～22年9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VaRによるリスク管理を実施し、あわせてバックテストを行いその有効性を検証している。また、金利変動の3通りのシナリオにおけるストレステストも継続して毎月行い、今期から新たに、過去の市場環境の大幅な変動を10種類想定してストレステストを行っている。</li> <li>・ 信金中金によるポートフォリオ分析を下期に予定。(10月～11月)</li> <li>・ 経理部に対する平成22年度総合監査で、バックテスト・ストレステストの妥当性の検証を実施予定。なお、ALM委員会等の資料についてのデータ検証については随時行っている。</li> </ul>
22年9月までの進捗状況に対する評価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VaR、バックテスト、ストレステストは継続して行い、検証・分析はできている。特にストレステストはレベルアップが図れている。</li> <li>・ 内部監査で上期のALM委員会資料等におけるVaRの計測について検証する。</li> </ul>

小項目	⑤法令等遵守の徹底
取組方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令違反や不祥事件を未然に防ぐため、適切な法令等遵守（コンプライアンス）態勢を整備するとともに、点検を強化する。</li> </ul>
推進態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合企画部が中心となり担当するが、営業店の法令等遵守状況の点検強化については業務監査部が中心となり担当する。</li> </ul>
具体的 取組策 (目標設定を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス・プログラムに基づく施策の実施</li> <li>法令等遵守・顧客説明体制の強化</li> <li>金融円滑化管理体制の強化</li> <li>コンプライアンス諸規程の見直しの実施</li> <li>コンプライアンス委員会の実効性ある施策の実施</li> <li>研修・勉強会等を通じた職員のコンプライアンス意識の一層の向上</li> <li>総合監査において、コンプライアンスの遵守状況を実施検証するとともに、コンプライアンス担当者の機能発揮面を重点に検証</li> <li>総合企画部と一層の連携を図り、検証結果を組織全体のコンプライアンス態勢の向上に反映</li> </ul>
22年4月～22年 9月の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス・プログラムに基づく施策については計画的に実施している。</li> <li>貸付条件変更管理システムの導入（8月）、「金融円滑化マニュアル」の制定（4月）と見直し（9月）を行い金融円滑化管理体制の強化を図った。</li> <li>「金融ADR制度」導入に伴い関連諸規程の制定と見直しを行い（9月）態勢整備を図った。</li> <li>コンプライアンス委員会の活性化を図るため、協議内容について各担当部署ごとの関連項目を確認し、PDCAサイクルの機能強化に取り組んだ。</li> <li>コンプライアンス・プログラムの研修計画に基づき計画的に階層別研修を実施するとともに、各部店内においても研修計画を作成し、各部店内での課題解決に向けた研修を行いコンプライアンス意識の醸成と向上を図った。</li> <li>総合企画部に対する平成22年度総合監査で、コンプライアンス態勢の遵守状況の検証を実施予定。</li> </ul>
22年9月までの進 捗状況に対する評 価及び今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の取組は実施計画に基づき進んでいるが、今後、「コンプライアンスに関するPDCAサイクルの機能強化」が課題である。</li> <li>上期の営業店監査の不備事項等も踏まえて、内部監査でコンプライアンス態勢が適切に機能しているかの検証を行なう。</li> </ul>